

第482号 11月号 2024.11.20

岐阜県 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

TKC DANCE FESTIVAL 2024 ～土岐市の地域密着ダンスイベント～

◆土岐市商店街連合会

2024年10月27日(日)に、土岐市駅前のゆのみの里広場特設会場にて、子供たちを中心としたダンスイベント「TKC DANCE FESTIVAL 2024」が開催されました。当日は、参加する子供たちやそのご家族・スクール関係者などで大いににぎわっていました。

■ 約50組のダンスグループが参加



▲小学生グループが熱いダンスを披露

10時のイベント開始とともに、特設ステージ上では、音楽に合わせた子供たちのダンスがスタートです。今回はゲストダンサーも加えると総勢約50組が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。参加グループは土岐市内のダンススクールに通う生徒さんに加え、瑞浪市・多治見市など、東濃地域全域のダンススクールから集まっています。小中学生が多い印象でしたが、高校生や社会人の方も参加されていました。

■ 東濃地域を中心に幅広いエリアから参加

瑞浪市にあるダンススタジオLifeからは、今回17組のグループが参加されていました。小中学生が主ですが、社会人のダンサーも複数参加されており、中には63歳のダンサーもいらっしゃるそうです。また、東濃地域以外にも加茂郡八百津町から参加されている中学生グループもありました。週に1回ダンススクールで練習していて、昨年参加してとても楽しかったので、今年も参加しているとのことでした。



▲八百津町から参加の中学生グループe l e v E Nのメンバー

■ 参加者にはお菓子とジュースを配布

本部テント前では、参加された子供たちに無料でお菓子とジュースを配布していました。配布するスタッフも音楽に合わせて体を揺らしながら、楽しそうに子供たちとふれあっている様子が見られました。



▲ダンス披露後はお菓子とジュースがもらえます

また、ダンスグループ発表の合間に、フリーのダンスタイムも開催され、DJが流す音楽に合わせ、チームの垣根を越えて、様々なチームがステージ上にあがり、自由に踊っている姿も見られました。



▲様々なグループ入り乱れてのフリーダンスタイム

■ このイベントから元気もらっています

土岐市商店街連合会会長の和田武雄さんにお話を伺いました。

「当イベントは、1997年から年に1回行っている、この地域で人気のイベントです。元々は土岐市商店街の理事が、お子様のダンスの発表会として小さく始めたのが始まりです。当時はダンスをする子供は少なかったのですが、ダンス人口の増加とともに、当イベントの人气が高まり、今では毎年多くのダンサーにご参加いただいています。参加者は小・中・高校生がメインですが、社会人の参加者もいらっしゃり、プロの方も特別参加で踊っていただいています。特に順位などは付けず、純粹に日ごろの練習の成果を披露する発表会として開催しています。土岐・瑞浪・多治見からの参加者が多いですが、岐阜県内でもこういったダンスイベントを実施しているところはあまりないため、他地域からの参加者もいらっしゃり、ありがたく思っています。今後の目標はとにかく継続していくことです。コロナによる中断期間は、参加者の方に残念な思いをさせましたが、再開後は子供たちをはじめ、皆さんに喜んでいただき、商店街メンバーもこのイベントから毎回元気をもらっています。参加者から参加費などはいただかず、配布するお菓子等の費用も商店街負担で実施していますが、このイベントを継続していくことで、損得や集客ではなく、地域の皆様への普段の感謝の気持ちを伝えられたらと考えています。」

高山市商店街 ベビーカーでまち散歩 ～おやこで商店街を歩く楽しい時間～

◆高山市商店街振興組合連合会

2024年10月2日(水)に、高山市商店街にて親子で商店街を歩くイベント「ベビーカーでまち散歩」が開催されました。今年で第12回目となる人気企画です。毎年晴れるというこの企画ですが、今回も晴天に恵まれ、午前10時の受付時にはすでに多くの参加者で賑わっていました。

■ 商店街が運営する子育て施設「かんかこかん」

本イベントは、高山市商店街振興組合連合会が運営するコミュニティ施設「かんかこかん」からスタートです。かんかこかんは、高山市内の人はもちろん、観光で高山を訪れた子連れの観光客も気軽に利用可能な施設です。近年は、子どもを連れた外国人観光客も利用されることがある



▲ 10時から受付開始です

そうです。

イベント当日の受付では、色とりどりの風船が参加者に配られていました。ベビーカーにそれをつけて歩くことが、参加者としての目印になります。

■ 子供でも飲める甘酒を配布

本町会商店街の「白啓酒店」前では、本イベントにあわせて、子どもでも飲める甘酒の提供が行われていました。アルコールが入っていないため、小さなお子様でも飲むことができます。参加者の方が、ベビーカーに乗ったお子様に甘酒を飲ませている様子も見られました。記者も試飲させてもらいましたが、お米が発酵した自然な甘さでとても飲みやすく感じました。店主の方曰く、この甘酒を飲むととても元気になるため、特に病み上がりの方などが好んで飲まれるそうです。



▲お母さんと甘酒を試飲

■ 飛騨牛の牛多子焼きも提供

本町会商店街の「牛多子焼」では、たこ焼きの形をした牛多子焼を提供されていました。形はたこ焼きですが、中身はタコの代わりに飛騨牛が入っているという高山ならではの食べ歩き料理です。



▲参加者が集い大盛況の牛多子焼前

お店前のベンチでは、お母さんがお子様に牛多子焼を食べさせている様子が見られました。店主の方にお話を伺いましたが、このイベントが始まった当初から毎年ずっと参加をされているようで、後日改めて買いに来てくださるお客様などもいるため、宣伝効果があるとのことでした。

その他ジェラートを提供するお店や、クマのアクセサリを提供する服飾店など、様々な参加店舗が参加者へいろいろなプレゼントを提供しており、楽しそうに各店舗を回る参加者の姿が見られました。



▲パパ・ママと一緒にスイーツタイム

■ 孤立した子育てを減らしたい

かんかこかんの館長であり、当イベントを運営する高山市商店街振興組合連合会の伊藤さんにお話を伺いました。

「かんかこかんは、高山市商店街振興組合連合会が運営する民間のコミュニティ施設です。一般的に全国の子育て支援施設は、行政やNPO法人が運営していますが、当館は商店街連合会が運営しているという特徴があります。今回のイベントの告知も、主にかんかこかんの利用者へ呼びかけています。75組限定としていますが、年々人気となっているためすぐに枠が埋まってしまううれしい状況です。最近の若いお母さんは、郊外のショッピングセンターなどを利用されることが多く、商店街を歩いて買い物される方が少なくなっています。こういったイベントを通じて商店街の店舗を知ってもらい、商店街へも足を運んでもらえるようにすること

が当イベントの狙いの一つです。参加者の中には初めて商店街を歩くという方も少なくなく、いろいろなお店があることがわかって楽しかったという声をいただいています。またショッピングセンターなどでは味わえない、お店の方との温かいふれあいも新鮮で嬉しかったという声もいただきます。

昔は兄弟や親戚・近所の方などが協力して子育てをしていましたが、近年は孤立した子育てが増えています。かんかこかんのような施設の利用や、このようなイベントへの参加を呼びかけることで、孤立して相談相手のいないお母さんなどが、友達や相談相手を見つけるきっかけになればという思いもあります。今後もこういったイベントを継続していくことで、地域の子育て支援と商店街振興を進めていきたいと思っています。」

地域に愛されて70年 森田屋靴靴店

◆瑞浪駅前商店街振興組合

「森田屋靴靴店」は、JR瑞浪駅から徒歩3分程に位置する創業72年の歴史ある靴・靴店です。3代目である店長の水野良哉さんにお話を伺いました。



▲学生向け商品が豊富な店内

■ 瑞浪市商店街の老舗靴・靴店

——貴店の歴史を教えてください。

当店は1953年に私の祖父がここ瑞浪で「森田屋靴靴店」を開業して以来、70年以上この地で事業を続ける靴・靴店です。昔は買い物といえば商店街を利用の方がほとんどで、とんでもなく忙しかったと祖父から聞いています。年末年始は夜の12時まで店を開けていたそうです。今は家族で経営していますが、昔は2、3名従業員もいたそうです。

——取り扱い商品を教えてください。

地域の皆様に向けた靴や鞄に加え、学生向けの靴・鞄・制服・帽子などを揃えています。地域の学校の指定用品取扱店になっています。ロードサイド店の台頭などで、一般向けの靴・鞄の売上は伸び悩んでいますが、学生向け商品の販売は比較的安定しています。

——お客様はどのような方が多いですか。

以前と比べると商店街を歩く人の数はかなり減っていますが、駅からバスを利用される方な

どが待ち時間を利用して、当店を見に来てくださることが多いです。駅から徒歩10分の所に東濃厚生病院という大きな病院がありますが、その病院に通院されるご年配の方によくご利用いただいています。

■ オリジナル商品も開発

——売れ筋の商品などはありますか。

一般の方向けの靴では、履き心地を重視した機能性の高い靴が良く売れています。ご年配のお客様が多く、とにかく足に負担がかからないものが欲しいというご要望が多くあるため、意識して品ぞろえを充実させています。1万円を超えるような靴もありますが、いいものが欲しいという声が多く、コンスタントに売れています。学生向け商品は、当店のオリジナル鞆などがよく売れています。この瑞浪北中学校の指定鞆は、当店と鞆製造業者、学校の3者で共同開発した商品です。日本製でとても丈夫なため3年間の通学にも耐えられる自慢の商品です。



▲森田屋オリジナルの瑞浪北中学校指定鞆

——今後の経営における不安要素はありますか。

東濃厚生病院が土岐市の病院と統合されることになり、近々この地から撤退する予定です。そうすると商店街を利用する方も更に減少することが予想されます。また、少子高齢化により学生の数も徐々に減少しているため、学生関連の商品も見通しは決して良くありません。

——そういった危機に向けた対策等がありますか。

学生向け商品に関しては、当店公式LINEを開設し、お客様とより密なやり取りをするよう心がけています。こちらからの発信はあまりありませんが、お客様から修理や在庫の問い合わせがLINE経由で頻繁にあるため、有効的に活用できていると思います。人通りに関しては当店のみの努力ではできることが限られているため、商店街全体で何か取り組めないかと考えています。

■ この人から買いたいと思ってもらえる接客を

——経営理念はありますか。

値段や品ぞろえでは量販店に勝てないかもしれませんが、とにかく「親切丁寧な接客」を心がけ、お客様に満足していただくことを大切にしています。



▲確かな商品知識による親切丁寧な接客

お客様の困りごとをうまく聞き出し、最適な提案をすることで、「この人から買いたい」と思ってもらえるようなコミュニケーションを重視しています。実際接客に満足して、定期的に購入していただけるお客様や、口コミで来店いただくお客様なども多くいらっしゃいます。

——今後の目標を教えてください。

瑞浪市以外の地域の学校にも積極的に働きかけ、学生向け商品の販路を拡大していきたいと考えています。競合もありますが、商品の品質に

は自信を持っていますので、十分戦えると考えています。また先ほど申し上げた通り、瑞浪市商店街全体で、集客のための取り組みを進めたいと考えています。七夕祭りやバサラカーニバルなど、イベント時には沢山の人来ていただけますが、通常時の来店にはあまり繋がっていません。以前、100円商品を各店舗に並べる「100円商店街」という企画をやっていましたが、そういった企画を復活させて集客に繋げていけたらと思います。

森田屋靴靴店

〒509-6121 岐阜県瑞浪市寺河戸町1146-21

TEL: 0572-68-2433

営業時間: 10:00~18:30

定休日: 木曜日



▲3代目店長の水野良哉さん

【取材・記事 中小企業診断士 足立信秀】

◆ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー(中心市街地活性化)派遣事業

中心市街地活性化協議会および認定民間中心市街地商業活性化事業者である中小企業者が抱える中心市街地活性化関連の課題解決のため、アドバイザーを派遣します。

■対象者

- 中心市街地活性化協議会
- 認定民間中心市街地商業活性化事業者である中小企業者

■支援内容

次のいずれかの計画に掲載されている事業の課題解決のため、中心市街地活性化等への知見を有するアドバイザーを派遣します。

- 中心市街地活性化法に基づく認定計画掲載事業もしくは掲載見込みの事業
(認定計画期間が終了した計画も含まれます)
- 各地域で定めた中心市街地活性化のための計画の掲載事業もしくは掲載見込みの事業
(内閣総理大臣の認定を受けていない独自計画が含まれます)

■期間と費用

受付期間

令和6年4月1日～令和7年2月末日
(支援可能日は、令和6年4月～令和7年3月14日まで)

費用負担

中心市街地活性化基本計画の認定地域は、5.0事案/年度まで無料
(その他地域は3.0事案/年度まで無料)
(0.5事案は0.5h～4.0h以下、1.0事案は4.0h超のアドバイスを指します)

■申込方法

独立行政法人中小企業基盤整備機構のホームページから、各種書類をダウンロードいただき、下記の「お問い合わせ・お申し込み」先までメールでご送付ください。

■お問い合わせ・お申し込み

高度化事業部 経営診断統括室 まちづくり推進室
TEL: 03-5470-1632
Mail: machi-ad1@smrj.go.jp (@を半角に変更してください)

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。